

# 第152期 中間株主レポート

2017年3月1日から8月31日まで



# 株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、御礼申しあげます。このたび第152期中間株主レポートが整いましたのでお届けいたします。

当社ではグループ総合戦略である「まちづくり戦略」を推進しており、街全体に人を集めるアンカーとしての役割を果たすとともに、商業デベロッパー機能を有する東神開発のプロデュース力を活用し、百貨店と専門店を融合させ、街・館の魅力を最大限に高めてまいります。

今上半期は、景気が緩やかに回復する中、個人消費についても底堅く推移し、当社においても連結・単体とも増収増益を達成することができました。

グループのコア事業である国内百貨店では、お客様ニーズを追求し、見やすく買いやすい売場づくりの原点に立ち返った独自の編集売場開発に努めました。子育てライフスタイル提案売場「ハローベビーサロン」や「ディアキッズスクエア」、働く女性のための売場「スーツクローゼット」などを大型店中心に導入してまいりました。

また、より多くのお客様との絆を築き深めるべく、他企業とのアライアンスも進めております。10月には新たにソニー銀行株式会社との提携により、百貨店初のデビットカード「タカシマヤプラチナデビットカード」を発行し、デビットカード

ならではの利便性をプラチナステージの魅力ある様々な特典とともにお届けしてまいります。海外のお客様に対しましても、4月に全日空商事株式会社、株式会社ホテル新羅との合併事業である空港型市中免税店を新宿・タカシマヤタイムズスクエアに開業いたしました。館全体でワンストップショッピングの魅力を提供してまいります。

さらに「写真家 沢田教一展 ―その視線の先に―」や、9月以降も「池田 学 展 The Pen―凝縮の宇宙―」「美しき氷上の妖精 浅田真央展」等、文化催事を開催し、心豊かな時間をお過ごしいただけるよう努めております。

こうした、百貨店ならではの品揃えやサービス、文化発信はもちろんのこと、「まちづくり戦略」においては百貨店のみならずグループのノウハウを活用することで、お客様ニーズに幅広く対応していけるよう、全社をあげて取り組んでおります。

再開発中の日本橋店を含む新たな商業施設は、その名称を「日本橋高島屋S.C.」に決定し、外観の様子も明らかになってまいりました。東神開発がテナントリーシングおよび建物管理をすることで、従来の百貨店に新しい魅力を付加し、来年度の開業に臨みます。再開発では都内最大級となる屋上庭園や賑わいを演出

するガレリア(屋根付き歩行者道)なども整備されます。ぜひご期待ください。

海外におきましても、百貨店と商業デベロッパーのノウハウを活用した商業施設展開を進めております。昨年7月、ベトナムにて東神開発が事業参画している商業施設サイゴンセンター内にホーチミン高島屋を開業いたしました。引き続き地元のお客様から高いご支持をいただいております。今後も、シンガポール、上海、ホーチミンと海外で積み重ねた実績を基盤に、2018年秋タイ・バンコクに開業予定のサイアム高島屋へとつなげてまいります。

欧米における金融政策の方針転換の影響や、アジアにおける地政学リスクの顕在化に対する懸念もあり、景気の先行きは依然不透明な状況にはありますが、グループ一体となり街・館の魅力を最大限に高める取り組みを進め、新たなライフスタイルをご提供することで、お客様のご期待にお応えしてまいります。

引き続き、株主の皆様のご支援・ご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

2017年11月  
取締役社長 木本 茂

# グループ総合戦略「まちづくり戦略」

お客様満足を追求した次世代商業施設づくり

- 地域と共生し、街のアンカーとしての役割を発揮
- 百貨店と専門店を融合し、「館」の魅力を最大化

まちづくり戦略では、東神開発をはじめ、グループノウハウを結集し、お客様満足を追求した当社独自の次世代商業施設づくりを進めております。

本年度は、9月に新宿・タカシマヤタイムズスクエアの土地・建物を完全所有いたしました。不動産活用自由度を高め、次世代商業施設づくりを実現してまいります。また、高崎高島屋をはじめ地方郊外店でもまちづくり戦略を推進してまいります。



新宿 9月土地・建物完全所有



高崎 9月全館改装 駅と高架橋で接続



立川 今秋第一弾リニューアル完成 11月上層階にニトリ導入



米子 地域再開発計画参画 12月東館を市に寄贈

## 新館増床で66,000㎡の「日本橋高島屋S.C.」誕生

- コンセプトは、<「美しい暮らしスタイル」を発信する店>
- 戦略ターゲットは、ベイエリアファミリー、オフィスワーカー、アーバンツーリスト

日本橋再開発事業もまちづくり戦略の新たなシンボルとして順調に進行しており、このたび施設名称を「日本橋高島屋S.C.」に決定いたしました。

重要文化財である本館(百貨店)に、新館(専門店エリア)、東館、および2015年オープンの時計専門館「タカシマヤ ウォッチメゾン」を加えた4館体制となり、本館と新館、本館と東館は、それぞれ2本の連絡ブリッジと地下道で接続いたします。



2018年春 東館専門店オープン

2018年秋 新館、ガレリア路面店オープン

2019年春 本館リニューアル完成、グランドオープン



路面店が並ぶ屋根付きのガレリア



都内最大級の屋上庭園(2019年春完成予定)

# 国内百貨店

## ハロー ベビー サロン、ディアキッズスクエア

子育て世代のお客様のニーズや感性にお応えするベビー用品の自主編集売場「ハローベビーサロン」を大型店と玉川店で展開しております。また、こども用品売場の再編を行い、子育てライフスタイルのトータルな提案型売場「ディアキッズスクエア」を大阪店に続き、本年9月、新宿店にオープンいたしました。

ベビーから始まる子育て世代のお客様を取り込み、次世代顧客の獲得につなげてまいります。

Hello Baby  
Salon

Dear  
Kids  
Square  
ディアキッズスクエア

## スーツクローゼット、タカシマヤ スタイルオーダーサロン

働く女性のスーツに対する需要が高まる中、この9月、自主編集売場「スーツクローゼット」を新宿店と横浜店にオープンいたしました。ナショナルブランドのスーツだけでなく、デザイナーとのコラボレートによるデザイナーズラインや、お取引先との協業によるオリジナルスーツ、自分だけのオーダーメイドを取り入れるなど、多彩なバリエーションのスーツやスタイリングをご提案しております。

またメンズでは、毎日過ごすビジネスの現場をもっと楽しく過ごしたいと考える、新世代ビジネスマンに向けたオーダーサロン「タカシマヤ スタイルオーダー サロン」を大阪店にオープンいたしました(10月)。



スーツクローゼット



タカシマヤ スタイルオーダーサロン

## タカシマヤプラチナデビットカード



ソニー銀行株式会社との提携により、百貨店初のデビットカード「タカシマヤプラチナデビットカード」を発行いたしました。このカードは、高島屋の優待サービスとソニー銀行の Visa デビット付きキャッシュカード「Sony Bank WALLET」が一体となったカードです。

現金と同じような感覚でショッピングにご利用いただけるデビットカードならではの利便性を、プラチナステージの魅力ある様々な特典とともにお届けいたします。

## 訪日外国人へのおもてなし

多くの訪日外国人のお客様が集まる新宿・タカシマヤタイムズスクエアに、空港型市中免税店「高島屋免税店 SHILLA&ANA」を本年4月に開業いたしました。また、高島屋の大型5店にて「Ponta」(ロイヤリティマーケティング)のインバウンドサービスを開始いたしました。高島屋でのお買物で獲得したポイントをお客様がお住まいの国でご利用いただくことができます。

今後も、海外からのお客様に対しても、より一層お買物をお楽しみいただけるようサービスの向上に努めてまいります。



高島屋免税店 SHILLA&ANA

# 国内グループ事業

## 東神開発

既存商業施設のリニューアルや、昨年に続くグループ保有資産を活用したマンション販売収益により、本年度も増収増益を計画しております。

流山おおたかの森S・Cでは、「子育て世代が住みたい街」という街の特性に立ち、こども関連ショップや託児所・授乳室を設けたキッズゾーンを新設するとともに周辺開発も進めてまいります。今後の成長戦略の一環として、流山おおたかの森駅の高架下の空間を活用した商業施設を鉄道会社と共同で計画しております。



流山おおたかの森S・C

## 高島屋クレジット

タカシマヤカード《ゴールド》発行10周年を記念した販売促進や、高島屋および加盟店でのクレジットカード取扱高増大により、増収増益を目指してまいります。

## 高島屋スペースクリエイツ

2020年オリンピック・パラリンピック開催を契機とした宿泊施設や商業施設をはじめ、広範囲にわたる旺盛な建設需要に対応し、大型物件を中心に内装工事受注の拡大に取り組んでまいります。

# 海外事業

## シンガポール高島屋ショッピングセンター

来年、開業25周年を迎え、これを契機にさらなる成長を目指してまいります。近年は、景気の減速や外国人旅行者の減少などにより、厳しい状況が続いておりますが、今後も、当地で築きあげたランドマークとしての存在感と、強固な顧客基盤などを背景に安定的な収益をあげてまいります。

## 上海高島屋

好調な個人消費に加え、日本文化の紹介や日本商品を販売する特設売場「日本館」を活用した店舗特徴化を進めてまいりました。また、積極的な営業政策により引き続き総売上高が前年比2桁の伸びをみせるなど好調な業績を維持し、早期の黒字化を目指してまいります。

## ホーチミン高島屋(サイゴンセンター)

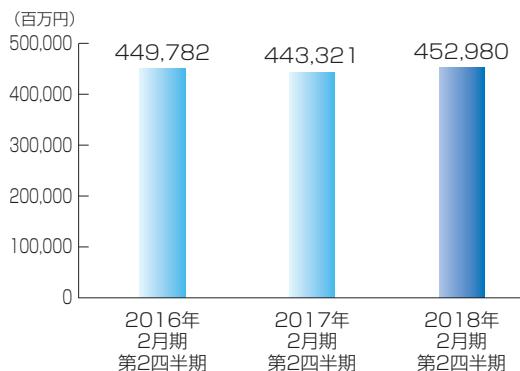
2016年7月の開業以降、現地のおお客様のご支持をいただき、売上高を伸ばしております。今後も、百貨店と隣接する専門店エリアが一体となり、同市における更なる「まちづくり戦略」を推進するとともに、早期の黒字化を目指してまいります。



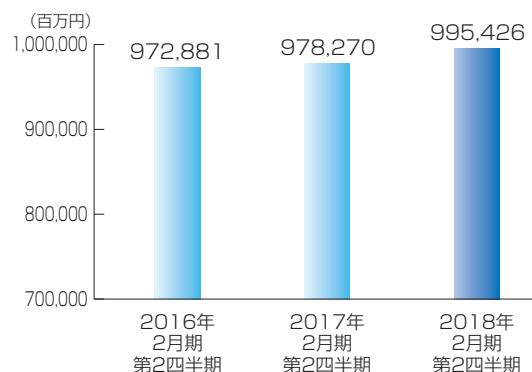
ホーチミン高島屋

# 第2四半期連結業績

## 営業収益



## 総資産

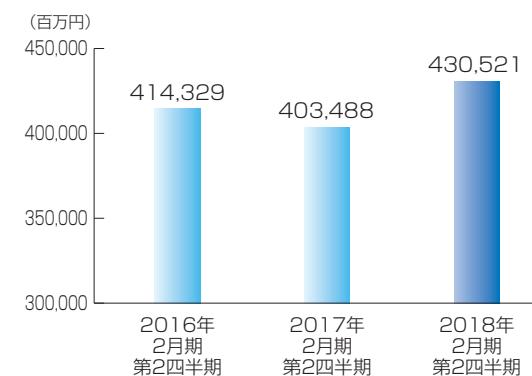


## 営業利益

## 経常利益



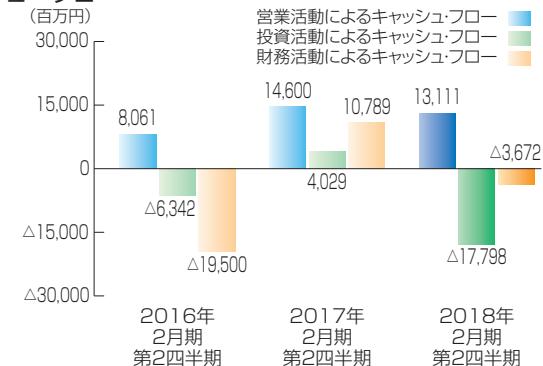
## 純資産



## 親会社 株主に 帰属する 四半期 純利益



## キャッシュ・フロー



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

科目	前期末 2017年2月28日現在	当第2四半期 2017年8月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>325,500</b>	<b>319,003</b>
<b>固定資産</b>	<b>660,963</b>	<b>676,423</b>
有形固定資産	413,703	429,586
無形固定資産	107,172	106,571
投資その他の資産	140,087	140,264
<b>資産合計</b>	<b>986,464</b>	<b>995,426</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>319,793</b>	<b>318,941</b>
<b>固定負債</b>	<b>244,780</b>	<b>245,963</b>
<b>負債合計</b>	<b>564,574</b>	<b>564,904</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>379,984</b>	<b>386,656</b>
資本金	66,025	66,025
資本剰余金	55,085	55,025
利益剰余金	265,033	271,771
自己株式	△6,160	△6,165
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>32,240</b>	<b>33,946</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>9,665</b>	<b>9,918</b>
<b>純資産合計</b>	<b>421,890</b>	<b>430,521</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>986,464</b>	<b>995,426</b>

## 連結損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 2016年3月 1日から 2016年8月31日まで	当第2四半期 2017年3月 1日から 2017年8月31日まで
<b>営業収益</b>	<b>443,321</b>	<b>452,980</b>
売上高	411,158	421,605
売上総利益	101,546	103,914
その他の営業収入	32,163	31,375
営業総利益	133,710	135,289
販売費及び一般管理費	119,932	121,396
<b>営業利益</b>	<b>13,777</b>	<b>13,893</b>
営業外収益	2,584	2,743
営業外費用	1,306	1,000
<b>経常利益</b>	<b>15,055</b>	<b>15,636</b>
特別利益	1,113	389
特別損失	2,459	2,722
税金等調整前四半期純利益	13,709	13,302
法人税等	4,854	4,222
四半期純利益	8,855	9,080
非支配株主に帰属する四半期純利益	378	68
親会社株主に帰属する四半期純利益	<b>8,477</b>	<b>9,012</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 2016年3月 1日から 2016年8月31日まで	当第2四半期 2017年3月 1日から 2017年8月31日まで
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>14,600</b>	<b>13,111</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,029</b>	<b>△17,798</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>10,789</b>	<b>△3,672</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,977	298
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	24,441	△8,060
現金及び現金同等物の期首残高	73,536	103,765
新規連結に伴う	3,929	391
現金及び現金同等物の増加額		
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>101,907</b>	<b>96,096</b>

# 単体業績

## 営業収益



## 営業利益 経常利益



## 四半期純利益



# 収支計画

## 2018年2月期 連結収支計画 (2017年3月1日から2018年2月28日まで)

通 期	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	951,000	3.0	36,000	5.9	39,000	4.8	23,000	10.2

%表示は、対前期増減率

## 〈ご参考〉 2018年2月期 単体収支計画 (2017年3月1日から2018年2月28日まで)

通 期	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	719,500	2.3	12,400	20.5	14,900	15.3	8,000	20.0

%表示は、対前期増減率

# 中間配当金について

当社では、将来に備え経営基盤を強化することにより安定的な配当水準を維持することを基本スタンスとしながら、業績や経営環境を総合的に勘案し、株主の皆様への利益還元を図ってまいります。この方針のもと、当期の1株当たり中間配当金につきましては、6円とさせていただきます。

▶ より詳細な財務情報は、当社ホームページ「IR情報」をご参照ください。

高島屋 IR情報

検索



# 株式情報

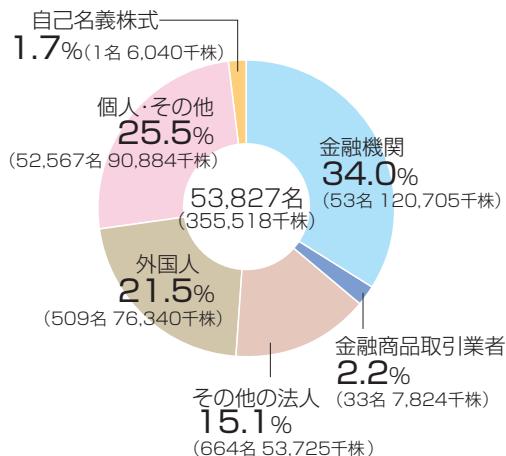
## 株式数および株主数

(2017年8月31日現在)

発行可能株式総数	600,000,000株
発行済株式総数	355,518,963株
株主数	53,827名

## 株式分布状況

所有者別

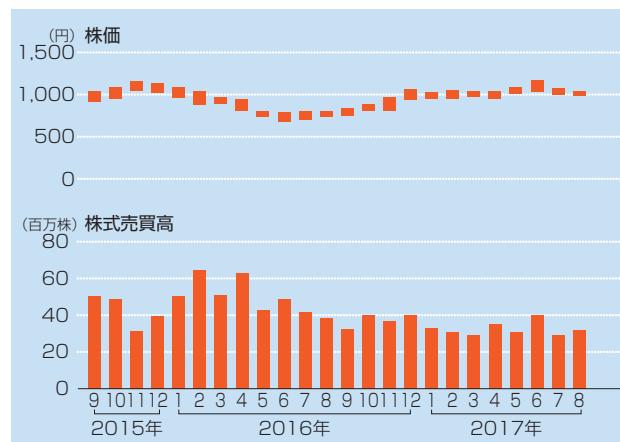


## 大株主

株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	33,333 <sup>千株</sup>	9.5%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	26,155	7.5
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社	17,774	5.1
日本生命保険相互会社	9,923	2.8
BBH FOR VANGUARD INTERNATIONAL VALUE FUND - EDINBURGH	7,429	2.1
高島屋共栄会	6,597	1.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	6,118	1.8
資産管理サービス信託銀行株式会社 (投信受入担保口)	5,297	1.5
相鉄ホールディングス株式会社	4,805	1.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	4,788	1.4

(注)持株比率は、自己株式 (6,040千株) を控除して計算しております。

## 株価 (高値・安値) および株式売買高の推移



# 株主優待制度のご案内

毎年2月末日及び8月31日現在の株主名簿に記載された1,000株以上ご所有の株主の皆様へ「株主様ご優待カード」を発行いたします。

通信販売カタログの送付をご希望の株主様は、

受付フリーダイヤル ☎ 0120-111-777まで、お申し込みください。



## 株主様ご優待カードのご案内

- (1) ご優待カードのご利用により、高島屋各店での割引対象商品のお買物につき、10%（1円未満切り捨て）を割引いたします。
- (2) お支払いには、現金、当社の商品券、タカシマヤバラカード、タカシマヤギフトカード、全国百貨店共通商品券、百貨店ギフトカード、友の会お買物カード（いよてつ高島屋を除く）、ギフト券（クレジット会社等発行）がご利用いただけます。また、タカシマヤカード《ゴールド》、タカシマヤカード、タカシマヤセゾンカード、外商お得意様用の各カードもご利用いただけます。  
他のご優待割引、各種ポイントサービスとの併用はできません。クレジットカードでのお支払い時は、クレジットカードのポイントはつきません。
- (3) タカシマヤプラチナデビットカードもお支払いにご利用いただけます（ただし、ジェイアール名古屋高島屋、いよてつ高島屋を除く）。タカシマヤプラチナデビットカードでのお支払い時は、銀行口座からの引き落とし金額に対して2%のポイントが付きまます。
- (4) ご優待カードをご持参されない場合は、割引いたしかねます。
- (5) 割引対象外の品目、ブランド  
商品券、タカシマヤギフトカード、全国百貨店共通商品券、百貨店ギフトカード、ギフト券類、金・銀・白金の地金類、たばこ、食堂（イートインコーナー含む）、喫茶、旅行費用、荷具・送料、修理・加工料、箱代、保険料、ルイ・ヴィトン、ティファニー、ベルルッティ、ブルガリ、カルティエ、エルメス、フォクシー、ディズニーストア、ポケモンセンター、シャネルブティック、シャネルジュエリー、パテック・フィリップ、ゲーム機本体、ロレックス（一部モデル）、その他各店で特に指定する売場・商品等については、割引対象外とさせていただきます。  
(注) 割引対象外の品目、ブランドは、予告なく変更させていただく場合がございます。
- (6) 代金引き換え配達のご利用方法  
通信販売または売場でのお買物で、ご注文の際にご優待カードご利用の旨をお申し出いただいた場合に限り、商品配達時に代金引き換えのお支払い方法で、ご優待カードをご利用いただけます（ただし、ジェイアール名古屋高島屋、いよてつ高島屋を除く）。
- (7) オンラインストアでのお支払い方法  
コンビニエンスストア、ネット銀行、ペイジー（金融機関ATM等）、タカシマヤプラチナデビットカード、タカシマヤカード《ゴールド》、タカシマヤカード、タカシマヤセゾンカード、外商お得意様用の各カード及び友の会お買物カードでのお支払いになります。  
(注) オンラインストア及び通信販売のお支払いにおいて、友の会お買物カードをご利用いただく場合は、事前に高島屋各店友の会窓口（いよてつ高島屋を除く）、またはオンラインストア（マイページ）にて「認証コード」のご登録が必要となります。

- (8) 高島屋文化催の無料入場  
ご優待カードのご提示により、3名様まで高島屋各店で開催いたします有料文化催に無料でご入場いただけます。
- (9) ご優待カードは株主様ご本人と国内居住のご家族の方がご利用いただけます。
- (10) ご優待カードは他人に譲渡・売買・貸与(ただし、上記(9)の場合を除く)等をされた場合は無効とし、ご利用いただけません。  
(注) 株主様ご優待カードご利用時に、ご本人確認をさせていただく場合がございます。ご協力をお願い申し上げます。  
非居住者である訪日外国人旅行者等を対象とした消費税免税を受けるお買物には、株主様ご優待カードをご利用いただけません。
- (11) ご優待カードを紛失された場合、再発行いたしかねますのでご承知おきください。
- (12) ご優待カードの分割発行はいたしかねますのでご承知おきください。
- (13) ご優待カードは高温多湿な場所や、磁気を帯びたもの(テレビ・オーディオ機器・冷蔵庫等)の近くに置かないようご注意ください。また携帯電話やスマートフォン、ハンドバックや財布等の磁石留め具など、強い磁気を発するものとの接触や、一緒に携帯することで磁気が劣化する場合がありますのでご注意ください。

## 取扱店舗

高島屋各店 大阪店、堺店、京都店、洛西店、泉北店、日本橋店、横浜店、港南台店、新宿店、玉川店、立川店、大宮店、柏店、タカシマヤフードメゾンおたかの森・新横浜・岡山 各店  
タカシマヤスタイルメゾン海老名店(ららぽーと海老名内)

岡山高島屋 岐阜高島屋 米子高島屋 高崎高島屋 ジェイアール名古屋高島屋 いよてつ高島屋

タカシマヤ通信販売 高島屋オンラインストア

## 郵送時期および有効期間

対象株主	郵送時期	有効期間
2月末日現在の株主	5月下旬(定時株主総会終了後)	ご優待カード到着日より同年11月30日まで
8月31日現在の株主	11月下旬	ご優待カード到着日より翌年5月31日まで

## 株主優待制度についてのお問い合わせ

株式会社高島屋 総務部 〒103-8265 東京都中央区日本橋2丁目4番1号  
TEL (03) 3668-7063 (受付時間: 10:00~18:00)

## 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日までの1年間
配当金受領株主確定日	2月末日 中間配当を実施するときの株主確定日は、8月31日です。
定時株主総会開催時期	5月
公告方法	電子公告をもって行います。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 (ホームページアドレス <a href="http://www.takashimaya.co.jp/">http://www.takashimaya.co.jp/</a> )
単元株式数	1,000株
証券コード	8233

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先 東京都府中市日鋼町1-1  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-232-711 (受付時間: 土・日・祝祭日等を除く平日9:00~17:00)

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご了承ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

ホームページアドレス <http://www.takashimaya.co.jp/>



本冊子は環境保全のため、再生紙を使用し、「植物油インキ」で印刷しています。